

県内で麻しん(はしか)が発生しています

令和7年8月以降、福岡県における麻しんの発生が継続しています。

麻しんは感染力が大変強い感染症です。**自分が感染しないためだけではなく、周りの人に感染を広げないためには、予防接種が有効です。**今まで麻しんにかかったことがなく、予防接種を1度も受けたことがない人および1回しか受けたことがない人は、予防接種を検討してください。

麻しんについて

- ・麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。
- ・肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。死亡する割合も、先進国であっても1,000人に1人と言われています。
- ・その他の合併症として、10万人に1人程度と高くないものの、麻しんウイルスに感染後、特に学童期に亜急性硬化性脳炎（SSPE）と呼ばれる中枢神経疾患を発症することもあります。

予防のポイント

マスクや手洗いのみでは予防できません。唯一の有効な予防法はワクチンの接種によって麻しんに対する免疫を獲得することであり、2回の予防接種により、麻しんの発症リスクを最小限に抑えることができます。

麻しんの予防、感染の拡大予防には、予防接種が効果的です！！

1. 麻しんの定期接種対象者は、予防接種を受けましょう。

【麻しんの定期予防接種対象者】

1歳児、小学校入学前の1年間の幼児の方は、無料で接種できます。

2. 成人の麻しん患者の割合が増加しています。

医療・教育関係者や海外渡航を計画している成人も、麻しんの罹患歴や接種歴が明らかでない場合は予防接種を検討してください。

（なお、上記の**定期予防接種対象以外の方は任意接種となり、費用は全額自己負担です。**）

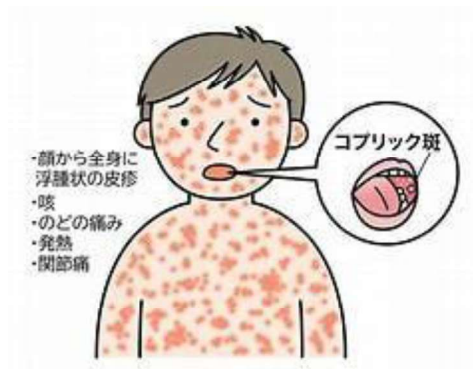
（参考）予防接種歴について

生年月日	麻しんの予防接種状況
昭和47年9月30日以前生まれ	定期接種の対象とされていませんでしたが、自然に麻しんに感染する世代でもあるので、免疫がある人と、免疫がない人がいます。
昭和47年10月1日から 平成2年4月1日以前生まれ	定期接種を受ける対象になっていましたが、1回のみ接種となっています。麻しんの免疫が低い可能性があります。麻しん予防のため、2回目の予防接種を検討しましょう。（任意接種）

平成2年4月2日以降生まれ	定期接種2回の世代です。母子手帳を確認し、2回接種していない場合は、予防接種を検討しましょう。
---------------	---

麻疹が疑われる場合の医療機関受診について

麻疹が疑われる症状（発熱や咳、鼻水、目の充血、発疹等）がある場合は事前に医療機関に電話連絡した上で受診してください。医療機関へ移動される際は、周囲の方への感染を防ぐためにもマスクを着用し、公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。また、登園・登校、出社等は控えてください。



《予防接種に関するお問い合わせ》

健康福祉課 健康推進係 ☎ 0948-65-0001